

高知カツオ県民会議 第三回カツオ食文化分科会 議事録

場所：株式会社丸三 会議室

開催日：9月12日 14:00～16:00

(参加者)

【講師】株式会社 FBT プランニング 久塚智明

(分科会会員)

(株)丸三 岡内啓明

日本航空(株)高知支店 磯村康志

(株)エースワン 天羽智彦

(株)ティーエルホールディングス 久保公晶

高知商工会議所青年部 西村修一

こうち暮らしの学校 松田高政

キリンビール高知支社 石田 健志・大石恭三

高知商工会議所女性会 石原文子・田邊洋子

高知カツオ県民会議事務局(高知広告センター) 松岡洋介・奥代智

(株)丸三 岡内聡典・合田一三・青木唯

和建设(株) 中澤陽一

(一社)高知県調理師連合会 大下正治

酔鯨酒造(株) 佐野麻美

高知割烹学校 高橋本

(公社)高知青年会議所 高橋達巳

(株)高南食品 宮本正司

アサヒビール(株)高知支社 杉崎友紀

アサヒビール(株)高知支社 杉崎友紀

アサヒビール(株)高知支社 杉崎友紀

食文化分科会事務局(丸三) 別府康高

合計 23 名

(内容)

第2回分科会で、第3回は「出汁についての見識を深める会としてはどうだろうか」という意見があり、高知大受田副学長の推薦により、高知大学客員教授の久塚智明氏の講演を聴いた。

久塚氏は、味の素執行役員、コカ・コーラ東京研究開発センター代表取締役を経て、現在は株式会社 FBT プランニング代表取締役の他、高知大学、沖縄大学、九州大学、東京理科大学大学院で客員教授としてご活躍中で、日本カツオ学会の副会長にも就任されている。

講演では...

- ・だしを『消費者(食品を食べる人)』ではなく、『生活者(価値を感じて購入してくれる人)』にどう発信していくのが大切である。
- ・美味しさだけなら「ほんだし」で充分かもしれないが、天然カツオだしは健康価値を伴う美味しいだしである。肉体や精神の疲労回復、抗ストレス、血圧降下作用などがある。また、だしは具合の悪い人が服用するような薬ではないが、日頃の健康な食生活にいい影響がある。
- ・高知の日照時間だからこそ抗酸化機能が発揮された野菜が採れる。地産地消の意味合い。
- ・企業や地域の戦略は1万人に1人の状況づくりが成功への導きである。ここで一つの要素で1万人に1人になることは難しい。しかし例えば、ソムリエで100人に1人の存在になる。同じくカンツォーネ歌手として100人に1人になる。すると「1万人に1人の歌えるソムリエ」という状況が生まれる。

- ・「原料×加工×保存×生活者視点での製品」、4つの掛け算による相乗効果や組み合わせで魅力あふれる商品が生まれる。ここで、製品そのものに目を向けるよりも動詞に焦点を合わせて考える。つまり、「イス」という製品そのものではなく、「座る」という行為を生活者視点で考えることが大切である。

といったことを、山口県周防大島のジャム、福岡県の茅乃舎のだし、隠岐郡海士町のさざえカレー、ポルシェの車椅子などの事例を交えてお話しいただいた。また、質疑応答では、カツオのアラ汁についての話も伺うことができた。

(お知らせ)

キンピール高知支社長 石田健志さんが転勤により異動されますので、10月より後任の大石恭三支社長に交代されることになりました。

◆次回

通常は11月の開催予定だが、今後の運営などを議題に10月に開催したい旨の提案が座長からなされ、提案通り10月に開催する事とした。

【 次回 開催日程 】

日 時 : 10月10日(火曜日) 14:00~

場 所 : 丸三

なお次々回は

11月14日(火曜日)18時から分科会および忘年会を開催予定です。